

仙台高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語ⅡB	
科目基礎情報							
科目番号	0056		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	総合科学系 (広瀬キャンパス一般科目)		対象学年	2			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	『be New Edition English Grammar 28』 (いいずな書店) , 『be New Edition English Grammar 28 Workbook』 (いいずな書店)						
担当教員	福地 和則						
到達目標							
1. 文法項目・構文の理解を深めること。2. 学んだ文法項目・構文を使って、書かれた英文を正確に理解できること。 3. 学んだ文法項目・構文を使って、自分の伝えたいことを英語で表現できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	1年時に学習した文法事項や構文を正しく理解し、活用・運用することができる。		1年時に学習した文法事項や構文をおおむね正しく理解し、活用・運用することができる。		1年時に学習した文法事項や構文を理解できなく、活用・運用することができない。		
評価項目2	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項を正しく理解し、活用・運用することができる。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項をおおむね正しく理解し、活用・運用することができる。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項を理解できなく、活用・運用することができない。		
評価項目3	授業で扱う語彙の60%以上の単語を理解し、活用・運用することができる。		授業で扱う語彙の50%～60%程度の単語を理解し、活用・運用することができる。		授業で扱う語彙の単語等の理解が50%未満であり、活用・運用することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	1年時に引き続き、品詞や構文を中心に、英文法全般を学習する。多くの問題演習を通して英文法の正確な知識を定着させ、かつ、読解や発話の場面で正確に使用できる力を養う。						
授業の進め方・方法	1年時と同様、予習がなされていることを前提として、問題演習を中心として進めるので、十分に予習して授業に臨むこと。						
注意点	授業を受けてもわからないことがあれば、積極的に質問するなどして理解を図り、わからないまま放置しないように心掛けること。 「予習⇒授業⇒復習」のサイクルを作り上げ、それを継続すること。辞書の使用は必須。 参考書『総合英語 be New Edition』 (いいずな書店)						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	Lesson 12 不定詞 (1)		不定詞の名詞用法、意味上の主語、疑問詞+to不定詞を理解し、活用・運用することができる。		
		2週	Lesson 13 動名詞		動名詞の基本的用法を理解し、活用・運用することができる。		
		3週	Lesson 14 動名詞と不定詞		動名詞と不定詞の完了形・受動態、動名詞と不定詞の相違を理解し、活用・運用することができる		
		4週	Lesson 15 不定詞 (2)		不定詞の副詞・形容詞用法、be+to不定詞を理解し、活用・運用することができる。		
		5週	Lesson 16 不定詞 (3)		原形不定詞と様々な形の不定詞を理解し、活用・運用することができる。		
		6週	前期中間試験第				
		7週	Lesson 17 分詞 (1)		分詞の用法 (限定・叙述用法)、使役動詞構文を理解し、活用・運用することができる。		
	8週	Lesson 18 分詞 (2)		知覚動詞構文、分詞構文を理解し、活用・運用することができる。			
	2ndQ	9週	Supplement 5 不定詞や分詞を使った表現		独立不定詞・独立分詞構文等を理解し、活用・運用することができる。		
		10週	Lesson 19 関係詞 (1)		主格・目的格・所有格の関係代名詞を理解し、活用・運用することができる。		
		11週	Lesson 20 関係詞 (2)		関係代名詞の特殊用法や非限定用法を理解し、活用・運用することができる。		
		12週	Lesson 21 関係詞 (3)		関係副詞の基本的用法、関係代名詞との相違を理解し、活用・運用することができる。		
		13週	Lesson 21 関係詞 (3)		関係副詞の非限定用法、複合関係詞を理解し、活用・運用することができる。		
		14週	Supplement 6 名詞の後置修飾		英語独特な名詞を後ろから修飾する表現を総括的に理解し、活用・運用することができる。		
		15週	前期末試験				
16週		答案返却					
後期	3rdQ	1週	Lesson 22 比較 (1)		形容詞・副詞の原級・比較級を使う文の用法を理解し、活用・運用することができる。		
		2週	Lesson 23 比較 (2)		形容詞・副詞の最上級を使う文や比較級の慣用表現の用法を理解し、活用・運用することができる。		
		3週	Supplement 7 比較表限		原級・比較級・最上級の慣用表現を理解し、活用・運用することができる。		
		4週	Lesson 24 仮定法 (1)		仮定法の基本的用法を理解し、活用・運用することができる。		

		5週	Lesson 25 仮定法（2）	仮定法で使われる様々な慣用表現を理解し、活用・運用することができる。
		6週	Lesson 26 構文（1）	taht節・間接疑問・強調構文・倒置を理解し、活用・運用することができる。
		7週	Lesson 27 構文（2）	名詞構文・無生物主語を理解し、活用・運用することができる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	Lesson 28 話法	話法の書き換えを理解し、活用・運用することができる。
		10週	復習 不定詞	復習により、不定詞への理解を深める。
		11週	復習 動名詞	復習により、動名詞への理解を深める。
		12週	復習 分詞	復習により、分詞への理解を深める。
		13週	復習 関係詞	復習により、関係詞への理解を深める。
		14週	復習 仮定法	復習により、仮定法への理解を深める。
		15週	後期期末試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0